



会長 林 裕悟

2026年 山桜会110周年に向けて

追手門学院校友会山桜会 会長挨拶

いよいよ山桜会は2026年に110周年を迎えます。これは、長い歴史の中で培われてきた母校での素晴らしい教育と、多くの同窓生が母校に寄せてくださった温かい想いがあってこそ成し遂げられたことです。この歴史ある節目を皆さまとともに迎える機会を得られることを大変嬉しく思っています。

この記念すべき年を目前に控え、山桜会として様々な企画やイベントなどの記念事業を計画しております。現在も、母校は次世代を育てるため、日々新たな挑戦を続けています。山桜会は、110周年記念事業を通じて、母校のさらなる発展に貢献するとともに、卒業生がますます懇親を深めていくことができたかと強く願っています。

メインイベントとして、2026年6月に110周年記念式典を開催し、多くの卒業生が集い、旧友との再会を果たし、思い出を語り合う場を提供したいと考えておりますので、皆さまの積極的なご参加をお待ちしております。

2025年も残すところわずかとなりました。どうぞ良いお年をお迎えください。

そして、2026年に向けて、引き続きともに歩んでまいりましょう。



会長・理事長挨拶

Message

祝・山桜会110周年

追手門学院 理事長挨拶

この度は、山桜会がまもなく110周年を迎えられること、心よりお祝い申し上げます。節目の年を迎えられるにあたり、さらなるご発展と会員の皆さまのご健勝をお祈りいたします。大阪偕行社付属小学校の設立以来、追手門学院の卒業生の会として学院を力強く支援し続けていただき、深く感謝申し上げます。

また、多くの卒業生が各界で目覚ましいご活躍をされていることは、私たち山桜会、在校生をはじめ、すべての関係者にとって大きな励みとなっております。

9月13日に開催された追手門学院大手前中・高等学校の錦城文化祭では、山桜会会員企業との産学連携コラボ企画が数多く見られました。

弊社にも事前に3名の生徒が来社し、ジェットコースターを作りたいという相談を受けました。時間的にも技術的にも相当難しいテーマで、工具は無償提供したものの、正直心配しておりました。しかし、当日見せていただいた完成品は、四角い座席に乗客が座りVRでジェットコースターの映像を体験しながら、周囲の生徒がうちわで風を送り座席を揺らすというもので、思わず笑みがこぼれました。大人では思いもつかない、生徒たちの自由で柔軟な発想力と実行力に感銘を受けました。

学院生たちがさまざまな経験を積み、多くの人から刺激を受けながら大きく成長していく姿に、私たちはいつも驚かされます。教職員も含め私たちがやりがいを感じるのはまさにこの瞬間であります。

社会へ羽ばたいていく卒業生一人ひとりの活躍を心から期待し、これからも山桜会とともに応援し続けてまいります。



理事長 田口 順一



大手前中高 錦城文化祭にて